

# ご紹介 シナリオプランニング研修（短縮可能）

## シナリオプランニング

3-5日間の研修期間で自分たち・自社の未来を見据え、課題をもとに事業計画を考えていただく研修です。注目される、シナリオプランニングの考え方を学んでいただき、実践までできるプログラムです。

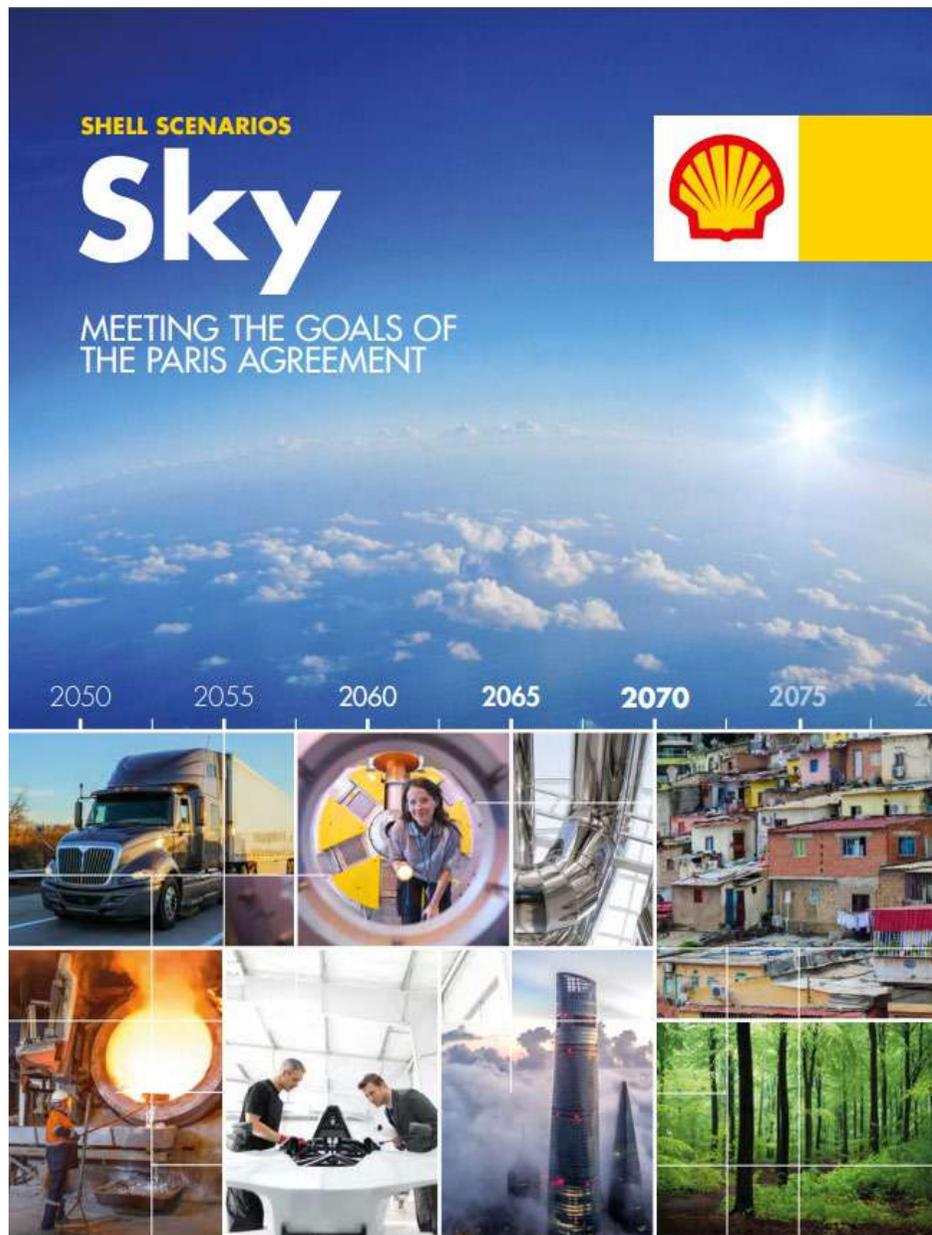
★ポイント

- ①若手・中堅のうちに、**一度本気で事業を考える経験**を肌感覚で味わっていただく
- ②SDGs・ESGといった**トレンドワード**を背景まで読み解き、それを理解したうえでシナリオプランニングができる
- ③**バックカスティング**の考え方で、**現状肯定をしない戦略の磨き上げ**を学ぶ
- ④**部長クラスとの対話**の中で、自身の会社における存在価値や期待値を再認識し、**モチベーションアップ**につなげる

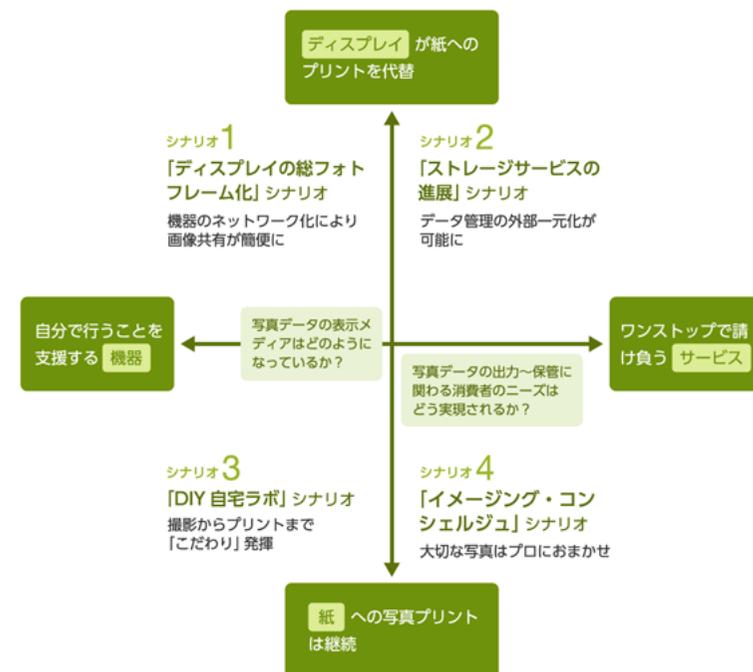
# 「シナリオプランニング」プログラム例

	Day1 シナリオプランニングの基礎	Day2 シナリオプランニングの実践	Day3 中間発表	Day4 未来洞察から戦略を描く	Day5 最終発表会
目的	貴社の示す未来を洞察するための戦略思考の共通知識習得	将来からバックキャストした場合の課題は何か	将来課題の方向性の擦り合わせを貴社方針を踏まえて共有する	シナリオの仮説を構築し事業に落とし込んで発揮すべきリーダーシップを探る	
内容	<p>1. バックキャストとは</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バックキャストとフォワードキャストの違い</li> <li>・未来像を描くためにはインプット/教養も重要(未来志向の本を読むなど)</li> </ul> <p>2. 具体的手法としてシナリオプランニング</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・描いた夢の実現ストーリーを描く</li> <li>・未来の情報を増やす(確実な未来と不確実な未来)</li> <li>・ターニングポイントを炙り出す</li> </ul> <p>3. 基礎としての戦略思考</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マーケットイン、顧客インサイト(顧客の顕在ニーズと潜在ニーズ)</li> <li>・3C分析や、ポジショニングマップなどの戦略フレーム基礎、USPの確立、戦略シナリオ思考も必要</li> </ul> <p>※USP(ユニーク・セリング・プロポジション)「独自のウリ」</p>	<p>1. 未来像を描く</p> <p>2. 2030年、2045年はどんな未来か?</p> <p>3. PEST分析(社会・業界レベル)</p> <p>4. 意思を持って未来を描く</p> <p>5. 描いた未来実現へのISSUEの抽出</p> <p>6. グループワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ISSUEの抽出</li> <li>・中間発表用資料作成</li> </ul>	<p>1. 中間発表会(午前) 想定したISSUEの方向について、部長クラスとディスカッション</p> <p>(午後)</p> <p>2. シナリオプランニングの実践</p> <p>3. 「延長線上でない」未来像を描く</p> <p>4. 「こんなの無理だろ」「夢物語だ」と言われるものを描くことが重要</p> <p>5. 「こんなの無理だろ」ポイントを抽出する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>→現状では無理だが、乗り越える</li> <li>→乗り越えるための手前のアクション(先行指標)の解像度を高める</li> </ul> <p>6. シナリオプランニングの実践の難しさ(理解されない、エビデンス・確実性がない)</p> <p>7. グループワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シナリオを描くグループ討議</li> </ul>	<p>1. シナリオを描く</p> <p>2. 事業計画書に落とし込む</p> <p>3. 戦略実行のための当事者としてのリーダーシップは何か</p> <p>4. 最終発表資料作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ作業</li> </ul>	<p>1. 午前プレゼンリハーサル</p> <p>2. 午後最終発表会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チーム別シナリオ発表</li> </ul> <p>3. 振り返り</p>

# シナリオプランニングとは？



- 石油メジャー下位のロイヤル・ダッチ・シェルが、1970年代オイルショックに備えたシナリオを策定して、一気に石油メジャー上位に躍り出たことで、大きく普及したアプローチ
- 当時のシェルは「シナリオプランニング」により、原油価格が5倍高騰した状況でも、各部門が既に「その場合のアクションプラン」を有しており、他社が大混乱する中、圧倒的な成功を収めた



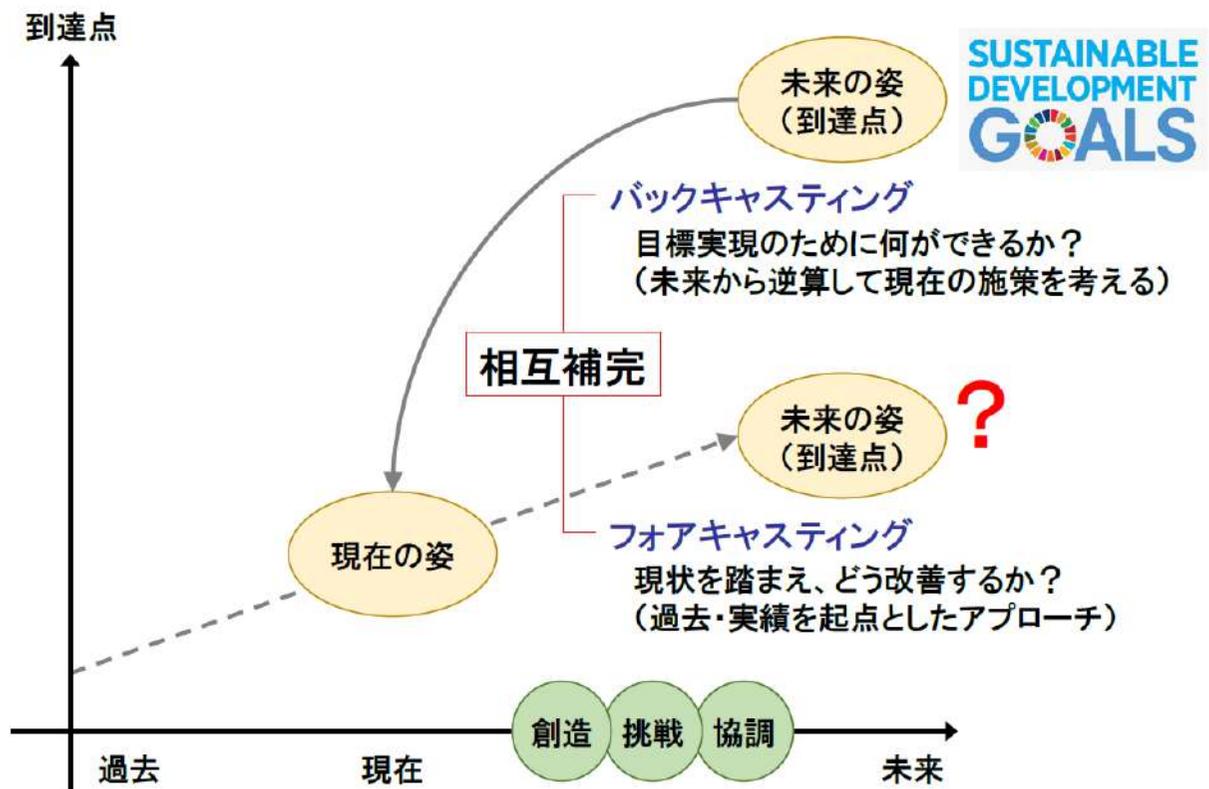
例) デジタル写真データビジネスには  
どんな未来シナリオが見えるか？

[https://www.greenfield-japan.com/scenario\\_planning/output.html](https://www.greenfield-japan.com/scenario_planning/output.html)

# シナリオプランニングとは？

## 未来に向けて取り組むべきことがわかる

- 全社一丸となって経営に取り組むためには、未来の姿を押し付けではなく従業員が納得感を持って描き、共有することが大事。
- 未来を描くための主要メンバーを巻き込み、シナリオプランニングにより未来の姿を描く（バックカスティング）
- 描いた未来に向けての、優先課題・目標、KPIの決定を行う（フォアカスティング）



# 社会システムの転換を目指すSDGs

国連加盟国197ヵ国が全会一致で採択した文書の正式名称は、

「Transforming Our World（我々の世界を変革する）」。

つまり197ヵ国すべての国が同意したことは、「世界の変革、トランスフォームする」です。

これは「**原型をとどめないレベルでの変容**」をあらわします。

SDGsで実現しようとしていることは、17の目標でも169のターゲットでもなく、

我々の世界を変革する、トランスフォームすることなのです。（SDGsは手段）

そしてさらに、**我々の世界をトランスフォームするためには、世界の一員である我々自身、一人ひとりがトランスフォームする、**ということでもあるのです。



**参考：2021年ダボス会議（世界経済フォーラム）のテーマは「グレートリセット」（コロナで中止）**

世界情勢の改善に取り組む国際機関である「世界経済フォーラム（WEF）」が、

2021年8月に開催予定だった**ダボス会議のテーマを「グレート・リセット」**

としたことが注目を集めた。

世界経済フォーラムがグレート・リセットの必要性を訴える理由としては、

新型コロナウイルスの感染拡大が経済成長、公的債務、雇用、人間の幸福に深刻な影響を及ぼしていること、気候変動や格差の拡大といった社会問題が危機的状況にあることが挙げられる。

これらの危機からより良い世界を取り戻すため、

**その場しのぎの措置ではなく、まったく新しい経済社会システムを構築しなければならないという考えを表明**している。



# SDGsが未来の市場を照らし出す (バックカスティングが重要)

## 共通言語

### 企業と世界をつなぐ共通言語

- 世界中の多くのプレイヤーが、SDGsを一つの前提条件として活動し、**SDGsというフレームワークの中で評価される時代**が訪れている。
- SDGs実現のためには、イノベーションを率いる役割を担う存在は企業であり、企業の重要性が高まっている。(投資資金もSDGsへ)

## 未来志向

### 「あるべき姿」を示し、未来志向の戦略を磨き上げる

- 「今できること」の延長線上に将来を予測するのではなく、「あるべき姿」から逆算して「今何をすべきか」を考える。
- バックキャストで描ける道筋はどうか。  
**単に既存事業にSDGsのラベルを貼ることによる現状肯定ではない**戦略の磨き上げが必要。
- 100年先を見据えて、誰も取り組んでこなかった社会課題に経営者がどのように取り組むかがSDGs経営の本質

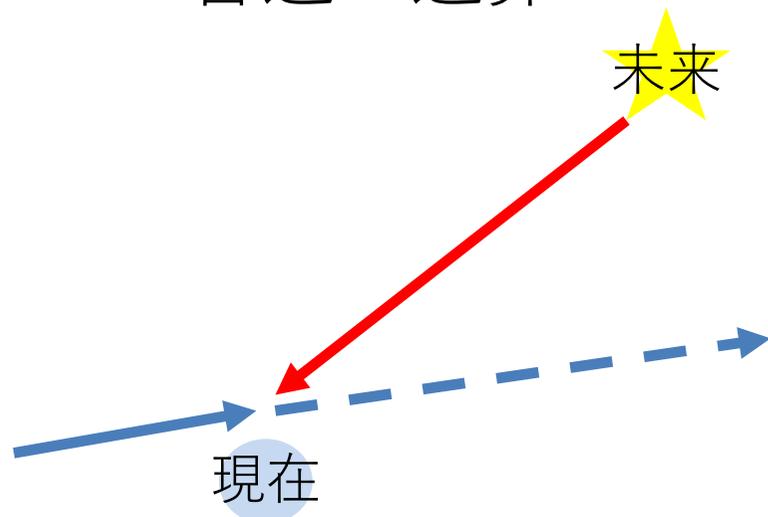
## リスクと機会

### 企業の存続基盤を脆弱とするか強固とするか

- 以前はサステナビリティは企業価値向上や競争力向上に繋がると考えていたが、今や多くの企業に取り組んでおり、SDGsを無視した事業活動は、評判低下、規制強化への対応遅れ、取引先からの疎外に結びつく
- 将来のマーケットを見据える魅力的なツールとしてSDGsを捉え、新技術や新たなビジネスモデルを生み出すことが企業・市場の成長を牽引する。

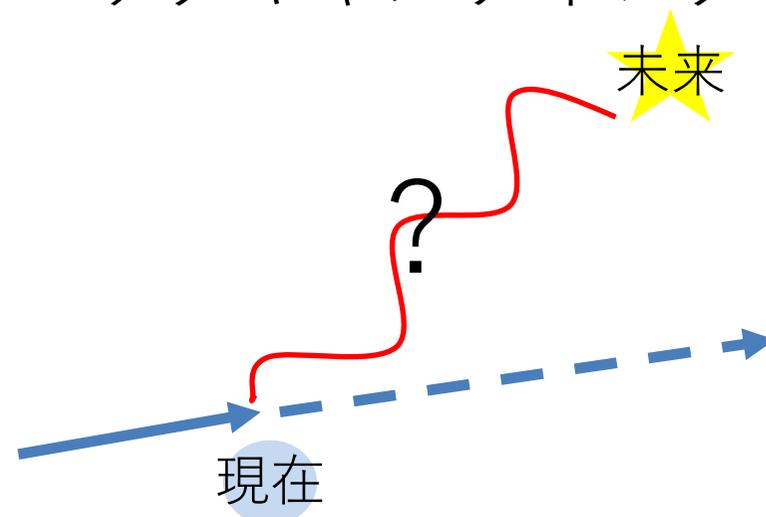
# バックキャストと単なる逆算の違い

## 普通の逆算



「10年後に100億円。  
5年後に50億円。  
3年後に30億円。  
1年後には10億円。」

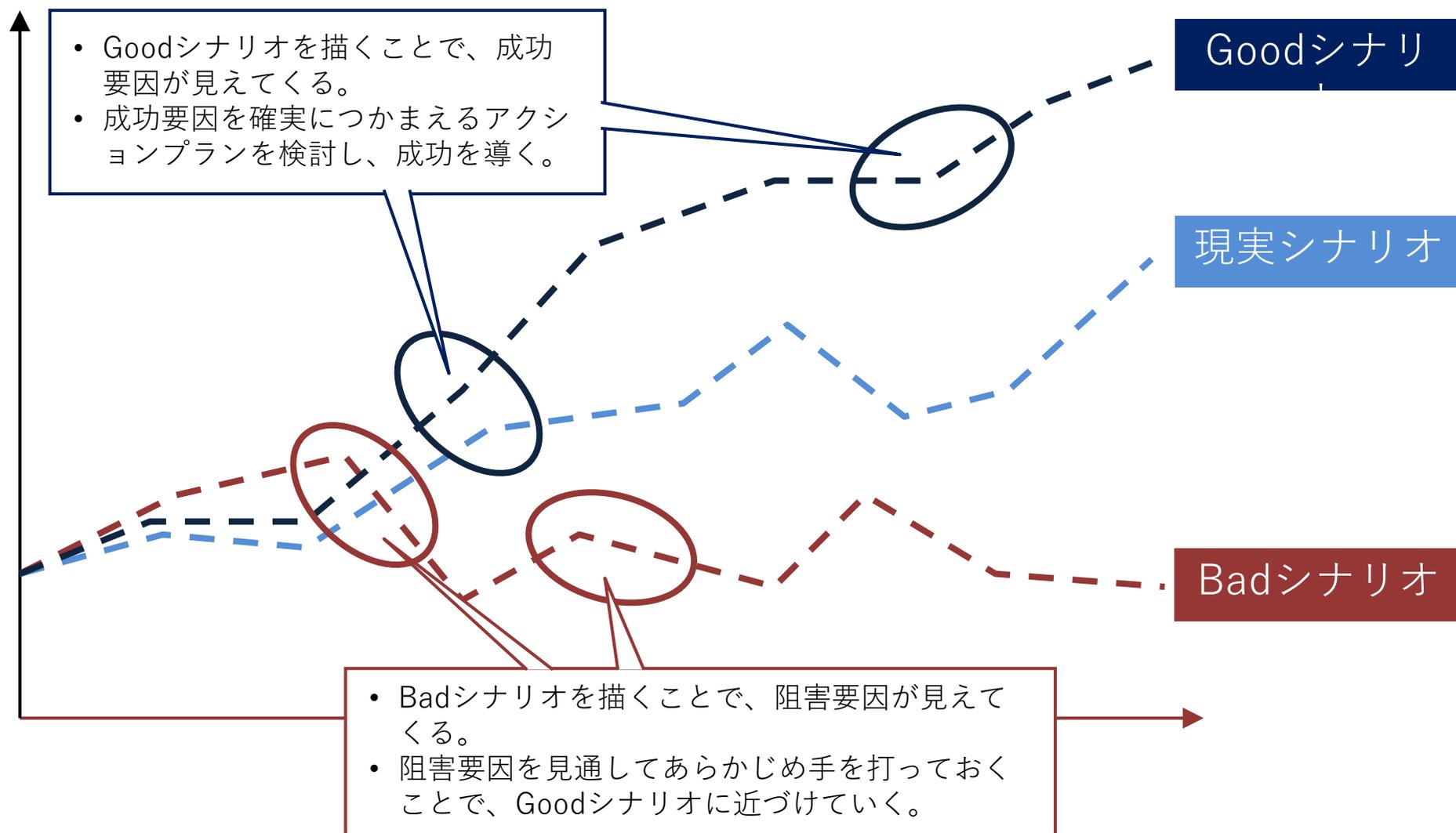
## バックキャスト



「現状ではたどり着けない」  
「一歩踏み出してみてもまた考える」  
「実現したい未来像はブレない」  
「アジャイルし続ける」

**バックキャストによってビジネスを成功させるためには  
「現状では無理」な点に対するイノベーションが必須**

# 具体的手法としてのシナリオプランニング



シナリオプランニングは、願望（起こってほしい）、予想（なるだろう）、理想（なるべきだ）ではなく、確率（起こりうる未来）を考えます。GoodもBadも複数パターン考え、どのシナリオに転んでも対応可能な施策を事前に考え備えていくことが重要です。

# 基礎としての戦略思考（フレームワーク）

<b>①課題</b> ターゲットが感じている解決すべき上位3つの課題	<b>④ソリューション</b> どうやってその課題を解決するか	<b>③独自の価値提案</b> どうなれば独自の価値を感じてもらえるか	<b>⑨圧倒的な優位性</b> 他者に真似されないものは何か	<b>②顧客セグメント</b> どんな人がターゲットなのか
	<b>⑧主要指標</b> どの数値があがれば成功と言えるか		<b>⑤チャンネル</b> どうやってターゲットにアプローチする	
<b>⑦コスト構造</b> コストはどれくらいかかるのか				
<div data-bbox="1077 874 1951 1273" style="position: absolute; top: 50%; left: 50%; transform: translate(-50%, -50%); background-color: #4a7ebb; color: white; border-radius: 50%; padding: 20px; font-size: 2em; font-weight: bold;">Sample</div>				